

行政監視委員会

委員一覧 (30名)

委員長	末松 信介 (自民)	加賀谷 健 (民主)	高階 恵美子 (自民)
理事	大島 九州男 (民主)	神本 美恵子 (民主)	中西 祐介 (自民)
理事	風間 直樹 (民主)	武内 則男 (民主)	浜田 和幸 (自民)
理事	川合 孝典 (民主)	難波 奨二 (民主)	宮沢 洋一 (自民)
理事	藤原 良信 (民主)	室井 邦彦 (民主)	谷合 正明 (公明)
理事	松村 龍二 (自民)	山根 隆治 (民主)	横山 信一 (公明)
理事	寺田 典城 (みん)	赤石 清美 (自民)	田村 智子 (共産)
	足立 信也 (民主)	岩井 茂樹 (自民)	山下 芳生 (共産)
	石橋 通宏 (民主)	宇都 隆史 (自民)	中山 恭子 (日改)
	大久保 潔重 (民主)	岸 信夫 (自民)	森田 高 (国民)

(23. 1. 27 現在)

(1) 審議概観

第177回国会において、本委員会は、行政の活動状況に関する調査を行った。

なお、今国会においては、不適正行政による具体的権利・利益の侵害の救済を求めることを内容とする苦情請願は、付託されなかった。

〔国政調査等〕

2月14日及び15日、行政監視、行政評価及び行政に対する苦情に関する実情調査のため、大阪府及び兵庫県に委員派遣を行った。

4月18日、検察不祥事と行政監視システムの在り方に関する件について参考人元厚生労働省雇用均等・児童家庭局長村木厚子君から意見を聴いた後、同参考人、江田法務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

質疑では、検察による情報漏えいを検証する必要性、国民に対する誠実な情報提供を確保する仕組み、録音・録画を取調べの全過程に導入する可視化の必要性、供述調書に過度に依存した捜査・公判の見直し、取調べ過程に弁護士を関与させ

ることの重要性、閉鎖的な検察を改革するための組織・人事の在り方、検察官の適格性を定期的に審査する制度を作る必要性、検察が自ら作った筋書きによる供述調書の作成、海外留学の拡大等検察官の研修・教育の改革、捜査権限を有し自己完結型となっている特捜部の組織上の問題点、劣悪な状態にある拘置所の環境改善の重要性、検察の捜査対象となった議員の名誉回復の方法、検事総長が国会に対し説明責任を果たすべき理由などが取り上げられた。

5月9日、検察の組織・人事の在り方に関する実情調査のため、最高検察庁の視察を行った。

5月16日、行政の活動状況に関する件について片山総務大臣、細川厚生労働大臣、蓮舫内閣府特命担当大臣、小川法務副大臣、高橋外務副大臣、五十嵐財務副大臣、平岡総務副大臣、池口国土交通副大臣、小宮山厚生労働副大臣、松下経済産業副大臣、中山経済産業大臣政務官、田嶋経済産業大臣政務官、岡本厚生労働大臣政務官、内山総務大臣政務官及び政

府参考人に対し質疑を行った。

質疑では、法務・警察行政に対する総務省行政評価局の関わり方、総務省の行政監視機能を国会に移管すべき提案、検事総長の国会出席に関する法解釈の在り方、福島原発で緊急作業に従事する者の長期的な健康管理、外国政府が不動産を取得する際の効果的な規制の在り方、内閣総理大臣による浜岡原発の運転停止要請と法律の誠実な執行、「福島原発事故についての緊急建言」の重大性の認識、検事総長の国会出席と国会法第104条の関係、生肉食中毒事件をめぐる政府の対応、ビート黒糖の表示問題、東日本大震災による地上デジタル化の取組の見直し、高速道路の料金設定の在り方、社会保険庁廃止に伴う職員の分限免職と年金記録訂正事務の処理能力の低下、福島原子力発電所事故対策統合本部の法律上の位置付けなどが取り上げられた。

5月23日、原発事故と行政監視システムの在り方に関する件について参考人京都大学原子炉実験所助教小出裕章君、芝浦工業大学非常勤講師後藤政志君、神戸大学名誉教授石橋克彦君及びソフトバンク株式会社代表取締役社長孫正義君から意見を聴いた後、各参考人及び田嶋経済産業大臣政務官に対し質疑を行った。

質疑では、主権在民に立脚した原子力政策の在り方、原子力安全委員会及びそれを監視する総務省行政評価局の機能不全、原発事故により放出された放射性物質の量と避難区域設定の妥当性、原発事故を検証するための機関を国会に置く場合の留意点、新たなエネルギー政策に加え更なる省エネルギー政策推進の重要性、原子力行政における適切な情報公開、地震学的見地から見た浜岡原発の問題点、原発事故収束の見通し、原発事故におけ

る政府及び東京電力の初動対応の妥当性、若狭湾に立地する原子力発電所の地震・津波等のリスク、原子力規制組織の構造的な問題と組織変革の在り方、内部被ばくを考慮した放射線量の計測・公表の必要性、休耕田にソーラーパネルを設置する「電田プロジェクト」が描く社会の姿、原発について「制御された安全」でなく「本質的安全」を確保する必要性などが取り上げられた。

5月30日、行政監視システムの在り方に関する件について参考人元人事院総裁中島忠能君、名城大学教授・総務省顧問郷原信郎君及び特定非営利活動法人情報公開クリアリングハウス理事長三木由希子君から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

質疑では、行政機関としての検察及び警察組織に対する行政監察の在り方、原発事故調査委員会の調査権限と国会に設置することの是非、行政による行政文書の破棄・隠蔽を防止する方策、行政情報の公開の判断の際に考慮すべき国益と市民の権利との関係、行政監視委員会等での議論を予算へ反映させるための方策、行政組織が重視すべき「社会の要請への適合」の意味、公務員の情実人事を排し全体の奉仕者性を担保するための中立機関の必要性、事業仕分けに対する評価、総務省行政評価局の要否と第三者性確保の必要性、原発事故調査委員会の組織・人事上の問題点、行政監視院を国会に附置することについての見解、全体の奉仕者と身分保障の関係、会計検査院の国会移管と憲法上の問題点、人事院勧告を経ず労使交渉により国家公務員給与を決定することの適法性、検察庁に対する国政調査権の行使の在り方、検察官の事務に関する法務大臣の権限、取調べの全面可

視化のメリット・デメリットなどが取り上げられた。

8月3日、行政の活動状況に関する件について江田法務大臣、中野国家公安委員会委員長、片山総務大臣、細川厚生労働大臣、与謝野内閣府特命担当大臣、細野国務大臣、鹿野農林水産大臣、枝野国務大臣、平野国務大臣、松下経済産業副大臣、逢坂総務大臣政務官、林文部科学大臣政務官、小林厚生労働大臣政務官、園田内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

質疑では、取調べ可視化に向けての政府の取組状況、原発問題の参考人質疑等を通じて認識された国会が国民の視点に立って議論することの重要性、連続幼児殺人事件解決に向けた国家公安委員会委員長の決意、検察の捜査への積極的な関与の必要性と証拠物を遺族に返還する考

えの有無、内部被ばく線量を含めた放射線量の実測による避難地域再設定の必要性、総務省の行政評価・監視の対象分野の決定に立法府が関与する方策、児童虐待件数の増加と政府の早急な対応の必要性、大震災後の自殺件数の動向と関連状況の分析、食品の放射能汚染に関し消費者庁が果たすべき役割、政府による情報提供を重視する情報公開法改正案の理念と原発事故に関する情報の公表状況の乖離、原子力規制行政の見直しに求められる規制組織の独立と専門性の確保、行政刷新会議における復興関連予算の精査と徹底した情報公開の必要性、総務省行政評価局の機能の再検討と参議院への移管、障害者に係る労災認定の在り方、福島原発事故の海水注入をめぐる政府の対応の問題点などが取り上げられた。

(2) 委員会経過

○平成23年1月27日(木) (第1回)

- 理事の辞任を許可し、補欠選任を行った。
- 行政監視、行政評価及び行政に対する苦情に関する調査を行うことを決定した。
- 委員派遣を行うことを決定した。

○平成23年4月18日(月) (第2回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 参考人の出席を求めることを決定した。
- 派遣委員から報告を聴いた。
- 検察不祥事と行政監視システムの在り方に関する件について参考人元厚生労働省雇用均等・児童家庭局長村木厚子君から意見を聴いた後、同参考人、江田法務大臣及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

末松信介君(自民)、川合孝典君(民主)、岸信夫君(自民)、谷合正明君(公明)、寺田典城君(みん)、山下芳生君(共産)、中

山恭子君(日改)、藤原良信君(民主)、赤石清美君(自民)、加賀谷健君(民主)、松村龍二君(自民)、中村哲治君(民主)、大島九州男君(民主)

○平成23年5月16日(月) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 行政の活動状況に関する件について片山総務大臣、細川厚生労働大臣、蓮舫内閣府特命担当大臣、小川法務副大臣、高橋外務副大臣、五十嵐財務副大臣、平岡総務副大臣、池口国土交通副大臣、小宮山厚生労働副大臣、松下経済産業副大臣、中山経済産業大臣政務官、田嶋経済産業大臣政務官、岡本厚生労働大臣政務官、内山総務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

[質疑者]

風間直樹君(民主)、石橋通宏君(民主)、浜田和幸君(自民)、岩井茂樹君(自民)、横山信一君(公明)、寺田典城君(みん)、

山下芳生君（共産）、中山恭子君（日改）

○参考人の出席を求めることを決定した。

○平成23年5月23日（月）（第4回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 原発事故と行政監視システムの在り方に関する件について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人及び田嶋経済産業大臣政務官に対し質疑を行った。

〔参考人〕

京都大学原子炉実験所助教 小出裕章君
芝浦工業大学非常勤講師 後藤政志君
神戸大学名誉教授 石橋克彦君
ソフトバンク株式会社代表取締役社長 孫正義君

〔質疑者〕

藤原良信君（民主）、赤石清美君（自民）、
谷合正明君（公明）、寺田典城君（みん）、
田村智子君（共産）、中山恭子君（日改）、
大島九州男君（民主）、松村龍二君（自民）、
風間直樹君（民主）、横山信一君（公明）、
山下芳生君（共産）

○参考人の出席を求めることを決定した。

○平成23年5月30日（月）（第5回）

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 行政評価等プログラムに関する件、政策評価の現状等に関する件及び行政評価・監視活動実績の概要に関する件について片山総務大臣から説明を、政府参考人から補足説明を聴いた。
- 行政監視システムの在り方に関する件について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

〔参考人〕

元人事院総裁 中島忠能君
名城大学教授
総務省顧問 郷原信郎君
特定非営利活動法人情報公開クリアリング
ハウス理事長 三木由希子君

〔質疑者〕

風間直樹君（民主）、宇都隆史君（自民）、
横山信一君（公明）、寺田典城君（みん）、
山下芳生君（共産）、中山恭子君（日改）、

武内則男君（民主）

○平成23年8月3日（水）（第6回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 政策評価の現状等に関する件及び行政評価・監視活動実績の概要に関する件について片山総務大臣から説明を、政府参考人から補足説明を聴いた。
- 行政の活動状況に関する件について江田法務大臣、中野国家公安委員会委員長、片山総務大臣、細川厚生労働大臣、与謝野内閣府特命担当大臣、細野国務大臣、鹿野農林水産大臣、枝野国務大臣、平野国務大臣、松下経済産業副大臣、逢坂総務大臣政務官、林文部科学大臣政務官、小林厚生労働大臣政務官、園田内閣府大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

大島九州男君（民主）、風間直樹君（民主）、
高階恵美子君（自民）、岩井茂樹君（自民）、
谷合正明君（公明）、寺田典城君（みん）、
田村智子君（共産）、中山恭子君（日改）

○平成23年8月31日（水）（第7回）

- 理事の補欠選任を行った。
- 行政監視、行政評価及び行政に対する苦情に関する調査の継続調査要求書を提出することを決定した。
- 閉会中における委員派遣については委員長に一任することに決定した。

委員派遣

○平成23年2月14日（月）、15日（火）

- 行政監視、行政評価及び行政に対する苦情に関する実情調査

〔派遣地〕

大阪府、兵庫県

〔派遣委員〕

末松信介君（自民）、大島九州男君（民主）、
風間直樹君（民主）、川合孝典君（民主）、
藤原良信君（民主）、松村龍二君（自民）、
寺田典城君（みん）、大久保潔重君（民主）、
難波奨二君（民主）、赤石清美君（自民）、

岩井茂樹君（自民）、岸信夫君（自民）、
高階恵美子君（自民）、谷合正明君（公明）、
横山信一君（公明）、田村智子君（共産）、
中山恭子君（日改）